

THE.リアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市南区柏町59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no.eor.jp/>

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年二〇一九年の大きな出来事としては、天皇陛下の退位、皇太子殿下の即位と元号の改元、そして消費税率が10%へ引き上げられ、国民負担が増えるといった歴史的な節目となる年でした。またラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表は史上初の決勝トーナメント進出で盛り上がり、初めてラグビーを見る人の心までわじわじかに熱狂を呼びました。流行語大賞にも選ばれた「フンチーム」というスローガンも、自然災害や痛ましい事故が相次ぐ中、私たちに「結束、する」ことの大切さ、そして「元気」を与えてくれました。

福祉関連では、我が国が迎えている「超高齢化」「少子化」などにより人口も確実に減少しつつあります。そして同時に、地域・家庭・職場という生活領域における支えあいの基盤も弱まってきました。老後世帯、老障世帯・独居世帯のみならず、地域から孤立し、必要な社会資源につながらない人は少なくありません。人と人とのつながりが途切れると、見守り合いの関係性が失われ、場合によっては生命のリスクが高まることとなります。最近よく耳にする「地域共生社会」とは、そういった法律や制度の狭間で適切な支援が受けられない人が増えていることもあって、地域コミュニティのあり方をあらためて問い直し、誰もが助け合いながら暮らしやすい社会を目指していくものです。

昨年末に開催された、第12回地域生活支援フォーラム（旭区自主支援協議会主催）では、障害当事者の方や地域（自治体）の方にも参加していただき、「福祉サービスだけでは安心できない障害のある人の暮らし」について話し合いました。その中で、「しかず離れず、日々その気ない挨拶など、お互い無理のない距離感で顔の見えぬ関係を作る」ことが、障害のある人にとっても誰にとっても、あじわいにつながる第一歩ではないかと確認されました。そして私たち障害福祉の専門機関は、地域コミュニティの後ろ盾としてまた橋渡し役として機能することがますます求められます。協議会活動を通して、小さなつながりのコミュニティを積み上げていきたいと思っております。

さて日本全体が人材不足に悩まされる中、福祉業界についても深刻な状況が続いています。その中、私たちがあらためて発信してきたのは、「福祉＝大変な仕事」ではなく「楽しい楽な仕事」・やりがいのある仕事」というイメージをいかに持つことも大切かです。もちろん楽な仕事ではありません。しかし一方でその楽しさやクリエイティブな仕事でもあります。とにかく一般社会では経験したことのないさまざまな方法で自己表現してゆく彼ら、その彼らの魅力に取りつかけてくれる人は、これから時代にも大勢は増えていくでしょう。職員一同、その魅力をさまざまな形で発信し、常に即回きな姿勢で取り組んでまいります。

本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。



あけましておめでとう



令和2年 年男・年女

今年の抱負



ベートーヴェンの曲をメインにコンサートに行く。
工房4 榎原大輔



元気で
連に通う
工房1 林和人



安全運転に
努めます
ドライバー大石

今年
年女とはビックリ。
親としては感謝です。
頑張ります。
工房2・堀口雅美



また、茶道のお稽古を始めます
日中活動 秋山



人脈と時間を大切にしたい。
相談員 滝沢



海外旅行に行きたい
日中活動 水野



何事にも一生懸命
ドライバー荒木



感謝の気持ちを忘れずに！！
生活支援 岡田



「克己心」を養う
生活支援 大野

取ったるぞー夢。待ってろよー俺が行くまで。
ドライバー佐藤



今年も生き残れるように頑張るちゃ。
日中活動 堤

アクティブライフ！！
小原課長



とりあえず...運動。
日中活動 山中

サポートセンター連 2020

